

第4回国産食肉輸出促進協議会概要

日時：平成19年3月22日（木） 13:00～15:00

場所：農畜産業振興機構6階会議室

概要

○牛肉の輸出マニュアル案について

前回の協議会では作成中とされていた部分も含め、マニュアル案の全体版が示された。

今後、年度末までに各委員等からの意見を聴いて修正を行い、新たに輸出に取り組む事業者に活用されるよう、各都道府県や関係機関等に冊子を配布することとされた。

○海外市場特性調査の報告について

事務局より、3月5日～8日、香港において、日本産牛肉の需要や消費拡大の可能性等に関する現地調査を実施したことについて報告された。

調査メンバーである東北大学大学院農学研究科の伊藤助教授より、今後、解禁された場合は一定の輸出数量が期待される一方で、特定の等級に需要が集中する可能性や、多様な部位の販売促進のためには広報戦略が重要であること等の課題について報告された。

○産地輸出協議会の概要について

事務局より、2月26日及び27日、鹿児島県において、対米輸出処理施設及び黒毛和牛肥育農場を視察するとともに、施設段階での輸出に取り組む上での課題やメリットなどを中心に、参加者による意見交換の概要について報告された。

○日本産牛肉の輸出促進を図っていく上での課題と対応策について

これまでの協議会等で議論した輸出に取り組む各段階ごとの具体的な課題と、19年度の輸出促進関連予算を含む今後の対応方策について、農林水産省より説明がなされた。

○今後の協議会の扱いについて

本協議会については今回をもって一旦終了とし、本協議会で行ってきた検討の成果を生かしつつ、来年度において、更なる発展的な議論の場として「食肉の輸出実行プラン」策定の場を別途設けることとされた。